



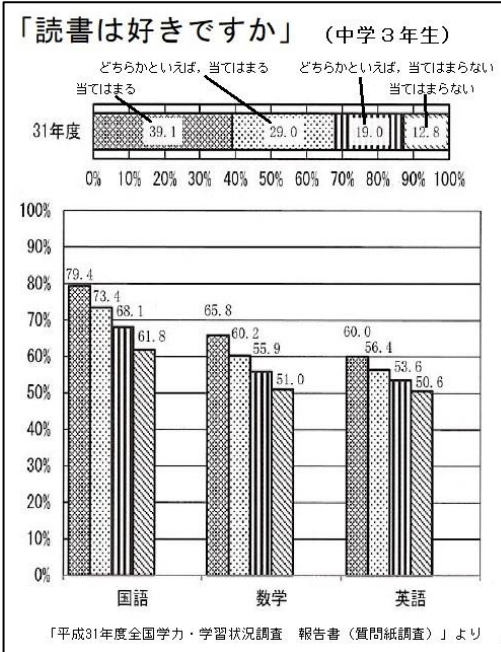
南部町立南部中学校 学校だより 第14号

千ーム南部中

令和元年11月1日(金)
校長 望月和彦

読書の秋です！「ビブリオバトル in 南部中」

「スマホなどの発達は結構ですけれども、ますます人間の想像力が退化しているんじゃないかと思うんですね。そういうところからいろいろな問題が起きている。」3年A組では毎朝、山日新聞の風林火山が掲示してあります。10月30日の風林火山に、ノーベル医学生理学賞を受賞した大村智さんの母校蕪崎高校でのあいさつの内容が載っていました。大村さんはこれからの自分の仕事として、子どもたちに本を読む大切さを伝えていきたいと語っていたそうです。右のグラフは、今年度の全国学力・学習状況調査の質問紙の調査結果から、読書と各教科の正答率の関係を調べてみたものです。明らかに、読書が好きで生徒ほど、正答率が高いことがわかります。それ以外にも、読書は様々な知識を与えてくれたり、幅広いものの見方や考え方、感じ方を教えてくれたり、自分が経験してこなかったことを疑似体験させてくれたり、想像力を高めたり、人の気持ちを理解する力が身につけられたり様々な効果があります。さらに直接的には、語彙が豊かになり、漢字に強くなったりと、文章が上手になったり、良いことがいっぱいあります。偉そうなことを書いている私の子どもの頃は、本を読むより、外で飛び回っていた方が好きな方でした。そんな私も、虜になるような本との出会いをきっかけに、本の魅力がわかるようになり、どこかに出かけたり、自由な時間があるときは、何かの本を持って行くようにしています。



さて、読書週間(10/27~11/9)ということで、11月29日(火)に図書委員会が図書集会を企画してくれました。内容は、図書委員による朗読と“ビブリオバトル(日本語に訳すと「知的書評合戦」)”です。図書委員12人が、「最初の質問」という詩をBGMと映像を使いながら朗読し



てくれました。26個の質問を通して、聞いている人たちに、今の自分を振り返り、これからの生き方を考えてもらう内容でした。そして、「ビブリオバトル in 南部中」です。5人の代表者が、自分のおすすめの本の良さを様々な視点で紹介してくれました。岩本奏音さんは、トップバッターで緊張したと思いますが、本との出会いの瞬間を興味深く話してくれました。青木愛希さんの「途中で怖くて読めなくなってしまった」という体験に、怖い物好きの人はどんな本か読んでみたくなったことでしょうか。木内美吹さんは、「フィギアスケートの4回転で有名なトルソワ選手も大好きな本だそうです」とマニアックな紹介をしてくれま

した。唯一男子で出場してくれた原田倅成さんは、紹介してくれた本が映画化されていることやお得な映画の見方を紹介してくれました。最後の望月莉夕菜さんは、お母さんが読んでくれた本によ



って勇気づけられ、今までに100回以上も読んで大切にしていることを語ってくれました。5人の発表は、たった3分間でしたが、紹介してくれた本がいかに魅力的なのか、読まなければもったいないという思いが伝わってくる発表でした。教員代表の山之内先生の発表は、「堅苦しい数学の本の中にも楽しんで読める本があるんだよ」と山之内先生の持ち味を發揮したユ

ニークな紹介をしてくれました。

読書が好きになるには、自分の心を揺り動かしてくれる本との出会いが必要です。その本は人によって違います。生徒の皆さんが、そんな本とたくさん出会えることを祈ります。



文化の秋、文化面でも本校生徒は活躍しています！

第11号で「交通安全・防犯弁論大会」について紹介しましたが、文化の秋を迎え、その他の文化的行事でも本校生徒たちが活躍しています。その一部を紹介します。

「家庭の日」「青少年を育む日」作品入賞者	ポスターの部：望月 玲さん(1), 岩城来翔さん(2), 佐野琴妃さん(3) 標語の部：佐野遥斗さん(1), 望月天斗さん(2), 望月希美さん(3) 作文の部：遠藤仁葉さん(3), 國友陽平さん(3), 若林芽生さん(3)
読書感想文	県入選：稲葉希子さん(3) 支部入選：杉山翼さん(2)
防火ポスター	優秀賞：小林月妃さん(2) 入選：草場孜温さん(2), 石川侑音さん(1)
JA 書道コンクール県大会	<半紙の部> 知事賞：四條桜恵さん(3) 金賞：小林月妃さん(2) <条幅の部> 金賞：小林月妃さん(2)
税についての作文	鯉沢税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞：四條桜恵さん(3)
峡南地区英語暗唱大会	<本校代表として出場> 佐野遥斗さん(1)・宮下千宙さん(1), 四條花梨さん(2), 望月美月さん(3)
福祉作文入選	遠藤由稀さん(1), 山田流稀さん(1), 稲葉朝哉さん(2), 四條瑞季さん(2), 諏訪颯斗さん(3), 旗持愛結さん(3) ※旗持愛結さんは10/10の「福祉健康まつり」、諏訪颯斗さんは10/24の「みんなで考える認知症の会」で、大勢の地域の方々の前で作文発表をしました。

思春期体験学習

10月30日、峡南教育事務所、町の福祉保健課と愛育会、PTA 広報研修部のご協力を得て、思春期体験学習を行いました。講師の新藤京子先生は、お母さんの身体の中で命が生まれ、赤ちゃんとして生まれてくるまでを丁寧に説明しながら、命の尊さ、子どもの自立の大切さと親の責任の重さについて熱く3年生に話してくれました。会場には今年生まれた赤ちゃんとそのお母さん方も来てくださ

り、生徒たちは赤ちゃんを抱っこさせてもらいながら、命の尊さを実感しました。



ふれあい学級とあじさい学級の6人が心を込めて育てた菊が玄関で咲いています。見に来てください。

